

# 警城時報

編輯 石城郡平町新屋町十四  
印刷 石城郡平町新屋町十四  
發行 石城郡平町新屋町十四  
電話 石城郡平町新屋町十四  
廣告料 一月十四元 三月三十九元 半年六十九元 一年一百一十九元  
日刊 (日曜日) 休刊

## 平町地下採掘問題

### 一部議員は賛成らしい

### 近く町會で態度決定

### 結局は不許可か

警城炭礦株式會社が出願した平町地下採掘問題は地方産業開發町における行政訴訟の締結如何の上から見て平町のためである各關係方面から頗る注目され、賛成意見を唱えてゐる一部町會議員もあるらしいが、大部分の町會議員は反對意見を有してゐるもの、如く、仙臺鑛山監督局では近く縣に對し諮問し來り更に縣から平町に對し諮問する筈であるからその際は平町に於ては町會を開き態度を決するに至る可く同問題は結局町側の反對で不許可になるではないかと見られてゐる。

## 平水道の着工期

### 平米移出検査係は千六百九十二

検査所平支所八月中における産米移出検査係は千六百九十二俵で前月に比し二百四十四俵の減少であつた、これは最近の天候設計も来る五月までに完成す候不順から米價昂騰して來た爲ることになつたので完成と同時に將來の賣價に依るものであると見られてゐる。

## 十日の締切り迄には豫定株は募集出来る

### 片倉磐城製糸側樂觀

### さのふ平町で發起人會

片倉磐城製糸會社の株式募集は數を計算し殘株は九月十日締切り去る七月二十五日から開始されりまでは發起人側で奔走募集するに於ては、農村疲弊、金融硬直、月末日までの成績によつては、財界不況等の諸原因から公切りまでに豫定株を募集するに困難な點に達する最初の豫想をすることが出来ること事務所側は前途の他の理由として極力反對を唱へ、かばしからぬ成績を樂觀してゐる。

## 湯本町の地下採掘

### 十二日公判

前後數ヶ年に亘つて警署を續け發起人は八方これが公案に奔走するに於ては、農村疲弊、金融硬直、月末日までの成績によつては、財界不況等の諸原因から公切りまでに豫定株を募集するに困難な點に達する最初の豫想をすることが出来ること事務所側は前途の他の理由として極力反對を唱へ、かばしからぬ成績を樂觀してゐる。

九月から石炭値上げ  
伊藤内務部長は山口技師等を随入財布を拾得したが、落主は平町北町町強口唯七郎氏と判明、謝禮拾得のうち五圓を平警察署人事相談所に寄附した。

平在郷軍人紀念事業  
平在郷軍人分會では今秋の御大典紀念事業につき考究中であるが、大體植林事業をなす事になるらしく、近く幹部會を開いて具體的決定をなす事になつた。

段より一割乃至一割五分の引上げをなす事に決定したが現在の價格は無煙炭一噸二十三圓、有煙炭十四圓五圓である。

## 木村代議士應援

縣政友代議士木村清治氏は耶麻縣議補選の唐橋候補應援のため一日同郡に出張した。

## 四倉礦市場成績

倉礦市場二日取引は總貫數二千三百五十五貫で最高五十八圓五十錢、最低四十圓、買馴五十三圓名の散步姿などは早くも地方民の目を惹くに至つたが、兩名の舉

## 出及庖丁を揮ふ

### 久保田パン屋の雇人

### 手指三本を切斷さる

平町南町六五番地飲食店富久美監督所主任等と植田町に至り縣會屋分店事笠川トメ方抱酌婦新編議員古川傳一氏等の案内で鮫川縣岩船郡村上本町由松五女佐藤に至り改修工事に關する方面のミツ(十九)は二日午後十二時頃調査を行つたが、夕刻歸福の豫人井上一郎が店先きに來てヒヤカしてゐるうち口論を始めたが小猿に觸つたミツは臺所から鋭利な庖丁を持つて來て井上にかかり井上の左手指三本を切斷したが、急報によつて平署から猪狩刑事出張し暴れ狂ふ酌婦佐藤ミツを捕へ、被害者は高久病院で加療中である。

## 明大出の商學士

### 藝妓と戀の駈落

### 小名濱新米旅館で擱まる

### 四十萬圓の富豪の息子

去る八月十二日以来小名濱町の動が如何にも怪しいので平警察一流旅館新米方に宇都宮市宇都宮市大署で内偵中の處、宇都宮市大工町銀島員村山幸治(二七)同人町には該當する者がないので偽妻君子(二二)と稱して投宿して名者と判明、二日平署から半澤刑事一行出張兩名を平署に引致し取調べた處、男は茨城縣結城郡絹川村大字小森百二十番地産家稻葉時四郎二男稻葉浩之助(二七)と言ひ、女は同郡結城町藝妓屋松葉家方抱藝妓君香事岸ふく(二二)と判明した、浩之助の父は四十萬圓の資産を有し、浩之助は大正十四年三月明治大學商科を卒業し十四年四月東京銀座松屋支店の計算係となり大正十五年四月栃木縣芳賀郡久下田銀行預金係となつたもので藝妓君香とは數年前から馴染を重ねてゐたものである、君香は本年五月頃から急性氣管支炎を病み親戚である栃木縣下都賀郡中村字下泉の伯母方に轉地療養をなしてゐる事を聞き浩之助は去る七月二十二日同所に君香の病氣を見舞つた際駈落しやうといふ語が纏まり浩之助は自宅から現金六百圓を持ち出して七月二十三日宇都宮市藤本旅館に投宿同所で前記偽名を用ひ夫婦と稱して十五日間滞在し次いで日光驛河屋に至り、更に飯坂温泉宿荷屋から小名濱町に來たものであつた、平署では兩名を引渡すため浩之助の實父及び君香の抱主を呼びよせた。

今晩夏井川で燈籠流し  
平町では例年舊盆に際し流燈會を催はしてゐたが今年も舊二十日午後七時(三日)から夏井川に於て舉行する事となり平町の各寺院では夫々準備をなした、鎌田橋下から火を点じた燈籠を清流に流すので涼みがてらの觀覽人河畔は例年の通り雜踏を呈するであらうと思はれる。

## 高橋氏夫人盛花陳列

平町白銀町高橋さく子女史は此程小原流盛花の最高免許狀である家元師範の免狀を授けられたので四日平町白銀町北辰妙見神社祭典を機し披露を兼ね奉納盛花陳列會を開く筈で出品は四五十に達する。

## 小名濱で強盜

### 余罪發覺

小名濱町古港生れ當時住所不定無職伊藤昇太郎(二二)は去る八月九日小名濱町山形勇方で詐欺を働いた上茨城縣發原町戸塚久三方から現金二圓、植田町江名町方面でも數件の強盜をなし平署に捕はれたが、取調べた處去る八月十四日夜小名濱町で強盜を働いた事を自白した。

鮫川視察  
藤田榮助氏は一日午後十時頃平町町合津醫院前で現金六十圓入財布を拾得したが、落主は平町北町町強口唯七郎氏と判明、謝禮拾得のうち五圓を平警察署人事相談所に寄附した。

六十圓拾ふ  
藤田榮助氏は一日午後十時頃平町町合津醫院前で現金六十圓入財布を拾得したが、落主は平町北町町強口唯七郎氏と判明、謝禮拾得のうち五圓を平警察署人事相談所に寄附した。

勿來市場成績  
勿來

### 更に 墜道工事

湯本、泉間の常磐線湯本、綴間傾城トンネルの亀裂から鐵道側の大問題として復舊工事を急ぎつゝあつたが既報の如く本工事をなす必要がないまでに完成したので二日を以て地盤測定員數名を減して引上げる事になつたが引き続き一ヶ月度中の工事として近く着工するのは平、綴間の新川鐵橋架替工事、同じく泉、湯本間西方山トンネル工事(延長八百尺)であるが同トンネルはトンネル内地盤が水分多く常に水を噴き出し地盤が緩むため列車運轉に相當危険を及ぼして居り早急にエンバート工事を施す事になつたこのエンバート工事は全長八百尺に亘つて約三尺の厚みにコンクリートを注ぎ込みレールを布設するものであるが、現在復舊となつてゐるため工事中は單線として列車運轉をなすので非常な難工事で完成までには約百日余を要すと。

### 鯉釣大會

#### 盛況を極む

磐崎村大字下船尾農事實行組合の養鯉事業は既報の如く非常な好成绩で本年春組合所有溜池に放した鯉が七寸から八寸に達したので二日、三日、四日の三日間鯉釣大會を催したが、初日二日には釣手六十名あり盛況を極めた。

### 磐崎の泥棒

茨城縣鹿島郡磐崎村大字深芝生物、三等高級萬年筆以下十等ま當時住所不定無職川口留吉(二二)である。

九)は窃盜罪により水戸刑務所で懲役六ヶ月の刑をうけ大正十三年八月に放免された後石城地方各炭礦を廻り歩き去る二月十七日午前一時頃石城郡磐崎村大字上湯長谷小野田炭礦飯場渡邊藤吉方に同居中佐藤清一郎所有の銀制懐中時計一ヶ代金十二圓外數点價格五十圓を窃盜したのを志願巡査に捕はれた。

### 三十一日

市川百々之助一人三役 幕末紅涙悲史 生死の岐路 怪 兎 及 或る日の家齋 少年俱樂部連載、マキノ連続特作 吉川英二原作 ひよどり草紙 マキノ梅太郎、岡島龍子 松尾文人主演 帝キネマ作品 悲涙、慘劇 現代人の戀路 藤間林太郎、歌川八重子主演 土曜日曜學生デー 帝キネマ 有聲座

### 妙見社祭

#### 懸賞假裝行列

平町白銀町北辰妙見神社大祭は明日(舊二十一日)夕刻執行の管で金興として櫓を建て盆踊りをなす上懸賞假裝行列の催はしがある筈で、参加者は午後六時までに妙見神社前集合、審査員は横山顯、川崎文治、坂本茂長、岡田弘成、佐藤稔、加藤丈夫、加藤正保、高木喬各氏、賞品は一等唐金製馬床置、二等銘仙反、三等高級萬年筆以下十等ま當時住所不定無職川口留吉(二二)である。

鳥節御料理 蒲焼 魚 榮 平町南町平館隣り 電話四二四番

腸胃 専門 皮膚病 婦人病 淋病 院病村松 町南平

高久病院 内科・外科・耳鼻科 咽喉科・花柳病科 院長高久忠 平町電話一三五

大和田醫院 耳鼻咽喉科 平町電話一七〇番

平町紺屋町 吉田眼科 電話六八番

### 片倉製絲株式會社株式募集要項

●株式募集要項  
資本金總額 金貳百萬圓  
壹株ノ金額 五拾圓  
募集株數 壹萬株 (總株數四萬株ノ内發起人及贊成人ノ引受株參萬株)  
申込株式單位 貳株以上  
申込期間 昭和三年七月廿五日ヨリ九月十日マデ  
申込證據金 (各壹株ニ付金貳圓五拾錢) (第一回拂込金ニ充當)  
第一回拂込金 (各壹株 金拾貳圓五拾錢) (昭和三年十月十五日迄)  
拂込ノ方法 後記ノ通り銀行及會社  
募入決定方法 過額株式ガ募集株式ニ超於テ適宜決定ス  
片倉製絲株式會社 發起人一同  
創立委員長 片倉兼太郎  
申込取扱所及拂込個所  
株式會社福島縣農工銀行平支店  
株式會社平銀行本支店、出張所  
東京 片倉製絲紡績株式會社  
郡山市 同社岩代製絲所  
定款目論見書株式申込用紙ハ取扱所又ハ創立事務所ニアリ  
創立事務所(元石城郡役所内)  
石城郡養蠶同業組合事務所

### 二葉印刷所

最新滋強 回春劑 ビーナス 定價 三圓 五圓 拾圓 廿圓  
◎適應症 腦神經衰弱、ヒステリー、生殖〇能 陰萎遺精、體力増進、新陳代謝等  
平町專賣所 平町五丁目角 山野邊藥局

### 淋病、消渴に奇妙に良き

ハリダスリ 不思議膏  
奇効に 奇妙に 主効能 神經痛、うちみ、くちき、肩のこり、筋の痛、リウマチス、腰の痛、手足の痛、胃の痛、齒痛、其外疼痛の個處へ用へて不思議に効あり。  
▲藥價 拾四枚入金五拾錢、八枚入金參拾錢、五枚入金貳拾錢、二枚入金拾錢  
平町四丁目(電話百四十四番)  
特約店 小野屋藥舖

### 市原病院

平町電話二四四番  
内科、小兒科 市原 卯太郎  
外科、一般、婦人科 市原 陸郎  
花柳病科 市原 三三男

### 加藤丈夫營業所

平町白銀町(電話三二番)  
田町商店向 貳拾五圓 白銀町 勤人向 八圓五拾錢  
白銀町 勤人向 四拾圓 仲町 勤人向 貳拾六圓  
仲町 勤人向 四圓五拾錢 仲町 勤人向 六圓  
二ノ丸 同 八圓五拾錢 柳町 同 七圓  
柳町 同 八圓五拾錢 同 同 八圓五拾錢  
同 同 拾貳圓 同 同 七圓五拾錢  
平町白銀町(電話三二番)

### オピール錠

藥學博士 丹波敬三先生製藥指導  
醫學博士 豊島豐次郎先生動物試驗  
咳止の 妙藥  
平町一丁目(電話四六二番)  
特約店 大平屋藥店